

さて、大館市の「総合開発計画」をのぞいてみると「恵まれた自然との調和の中に近代的産業を興し、市民の豊かな生活と創造を促し、活力に満ちた地方中核都市の建設」を掲げてあります。大館市は教育、文化、福祉をはじめ、健康的で便利な住みやすい都市づくりを目指し、高速交通ネットワークづくりや都市機能の近代化、産業の振興をはかり、働く職場の充実に力を入れていきます。一方、澄んだ水と空と緑の中で情緒あふれる「ロマンのふるさと」大館は、私たちの誇りであり、心のこもった観光のまちとしてのチャームポイントです。



石川 富男リポーター

(栄町)

大自然の魅力をしみじみかみしめながら、心のかよう明るいまち、活力に満ちた地方中核都市の建設に、市民、行政挙げて取り組んで行くことを願わずにいられます。



前沢 綾子リポーター

(相染沢中岱)

化活動の発展を願いながら今日で十三年の歳月がたちました。読書はスリルと冒険とを味わせ、幾多の生活体験を示しながら、思想の豊饒の世界へと導いてくれるのです。それまで見えなかった世界が、自我を乗り越えて見えてくる時、読書の持つ魅力を子供たちとともに感じています。



伊藤 正行リポーター

(美園町)

### 子供たちとともに

前沢 綾子

人を通してイメージを売ることも、活性化につながる大館の顔づくりだと思えます。

この地の教育文化を思う時、人づくりに寄せる期待として親子読書会の歩みに思いが向けられます。人とのつながりを地域に向けて、他者の無感心を自分の姿に持っていき、愛と希望のある地域活動を実践している仲間たちです。図書館と読書でつながりを持って、子供たちの文

こんな触れ合いの中で、人づくりがなされることは素晴らしいことだと思えます。このような活動が、地域活動にいくらかでも役に立てば、手助けになればと考えています。

小さな歩みでもこれから先、図書館とともに地についた活動を重ねること、大きな大館の顔づくり、市の発展につながる日が訪れるのではないかと思っています。

### イメージアップを

伊藤 正行

過日、大館市外の出身で、ある民間企業出先機関幹部の方から、大館の現状に対する印象や問題点に関するお話を伺う機会がありました。

例によってそのイメージは、暗く停滞した活力に乏しいまち。ドラスタチックな変革に相反して、ある種かたくなまでの保守的意識と、より良い変化を望まないかのように見えるほどの行動力の欠如を指摘していました。

私は改めてショックを受けたとともに、しからは自分自身は何かまちの活性化と発展に資する行動をとっているだろうか？と自省の念も覚えました。大館がこのように見られる原因と問題点は何かと言うと、①体裁を気にし過ぎる②いふりこきである③世代交代が各方面で進んでいない④人材教育への熱意の欠如の三つが挙げられました。

私も他市出身者として同感でしたが、今後は問題点の指摘や批判にとどまらずに、一住民としていかにすれば我が愛するまち大館となり得るのかという問題意識を持って、微力ながら地域活性化の命題に取り組んでいきたいと思っています。

広報市民リポーターを募集！

あなたのペンで

広報「おおだて」

広報「おおだて」をより身近で、充実したものにするため、市民リポーター制度を設けています。

広報を作ってみたい、あれを取材したい、これが知りたいという方、ドシドシ応募ください。

■広報市民リポーターのしごと

(1)編集会議への参加(年四回)

(2)取材・記事の執筆(年三回)

(3)地域での話題や出来事などの情報提供

(4)広報への提言

■委嘱期間

平成元年五月～二年三月末日

■資格

十八歳以上の市民(高校生除く)

■応募方法

広報についての感想文(四百字前後)に、リポーターとして取材したいこと二つとその理由住所、氏名、年齢、性別、家族構成、職業、電話番号を書いた別紙を添付してください。

■応募先及び問い合わせ

〒017 大館市字中城二〇番地

市企画調整課広報統計係

☎49-3111(内線268)

■決定

応募された方の中から、審査のうえ六人に「広報市民リポーター」を委嘱します。

「おおだて」を委嘱します。